

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
YOKOHAMA令和7年10月31日
国際局グローバルネットワーク推進課

横浜の協力で、フィリピン・セブ本島に初めて本格的な汚泥処理施設が導入されます！

JICAと連携して取り組んでいる「汚泥処理施設」の起工式を開催します！

中止となりました。

横浜市は、市内の企業と連携して2012年からフィリピン・セブ都市圏の環境改善に協力してきました。セブ都市圏では、下水道の整備が進んでおらず、家庭内のコンクリート製のタンクにトイレの汚水や汚泥が溜まつたまま十分な処理がされていません。このことが、河川や土壌の汚染を引き起こし、公衆衛生上の大きな課題になっています。

中止となりました。

このたび、日本の政府開発援助(ODA)の「地方自治体と連携した無償資金協力」として汚泥処理施設が建設されることになり、11月7日に起工式(下記1)が行われます。この施設の完成により、現地に住む人々の生活が、より清潔かつ安全なものになります。また、この機会を捉えて、起工式の前日(11月6日)には、セブ州庁舎に行政機関や企業等が集まり、脱炭素・循環型社会の実現に向けて今後の協力を話し合うワークショップを開催します(下記2)。

1. セブ都市圏の汚泥処理施設に関する起工式の概要

日 時：令和7年11月7日(金)午前(予定)

場 所：「メトロセブ水道区汚泥処理計画」の施設建設計画地 ほか

中止となりました。

住 所：F Cabahug St., North Reclamation Area, Mabolo, Cebu City

参 加 者：メトロセブ水道区、セブ州やセブ市等の現地自治体、JICA、横浜市 ほか

施設概要：本施設は、JICAと横浜市によるセブ都市圏の開発計画の策定支援や、横浜市内企業の環境技術を活かした実証事業、JICAによる準備調査等を経て、セブ都市圏の人口密集エリアの各家庭のトイレからの汚水や汚泥を集約処理(日処理量150m³)するために建設されるものです。



メトロセブ位置図



汚泥処理施設の完成予想図(©メトロセブ水道区)

現地取材のお申込み及び現地での活動写真の提供について：

別紙「セブ都市圏の汚泥処理施設に関する起工式」取材申込書を11月5日(水)17時までに担当(ki-global@city.yokohama.lg.jp)にお送りください。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



事業概要：

- 無ばっ気式浄化槽からの汚泥引抜と運搬



- 汚泥処理



- 脱水汚泥の運搬・処分

埋立処分場

運搬車両の供与

セブ都市圏の各家庭に設置されている「無ばっき式浄化槽」(コンクリート製のタンク)の管理を改善するため、以下の機材の供与や施設の整備が行われます。

- (1)浄化槽の汚泥を引抜いて運搬するためのバキュームトラックの供与
- (2)汚泥処理施設の建設
(計画処理能力 150 m³/日)
- (3)汚泥処理施設で発生する脱水汚泥を埋立処分地等へ運搬する車両の供与

事業のイメージ図

2. 「持続可能な開発に向けたメトロセブワークショップ」について

日 時： 令和7年11月6日(木)9:00～16:30(フィリピン時間)

場 所： セブ州庁舎(Cebu Provincial Capitol) Social Hall

中止となりました。

主 催 者： 横浜市、セブ州(後援)

参 加 者： セブ州やセブ市等の現地自治体、JICA、横浜市、横浜市内企業 ほか

概 要： 横浜市は、環境省やJICA等の支援を受けて、セブ都市圏を対象に、①エネルギー、②下水道分野、③廃棄物管理の3分野において技術協力と市内企業のビジネス形成を一連的に推進しています。

このたび、これらの事業を総合的に推進するため、セブ都市圏の地方自治体、民間企業、国際協力機構等を招き、ワークショップを開催します。詳細は以下 URL をご参照ください(英語のみ)

<<https://yport.city.yokohama.lg.jp/archives/4404>>



内容	時間(フィリピン時間)	主な登壇者
開会	9:00～9:30	セブ州知事、在セブ日本総領事など
セッション1： エネルギー・防災分野	9:30～13:00	セブ市など事業参加都市、横浜・セブの環境省事業への参画企業等
セッション2： 下水道分野	13:00～14:30	JICA、メトロセブ水道区(MCWD)、JICA や無償資金協力事業への参画企業等
セッション3： 廃棄物管理分野	14:30～16:30	セブ市廃棄物担当、横浜市内企業、横浜市等

お問合せ先

国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長 中村 恭揚 Tel 045-671-4396



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

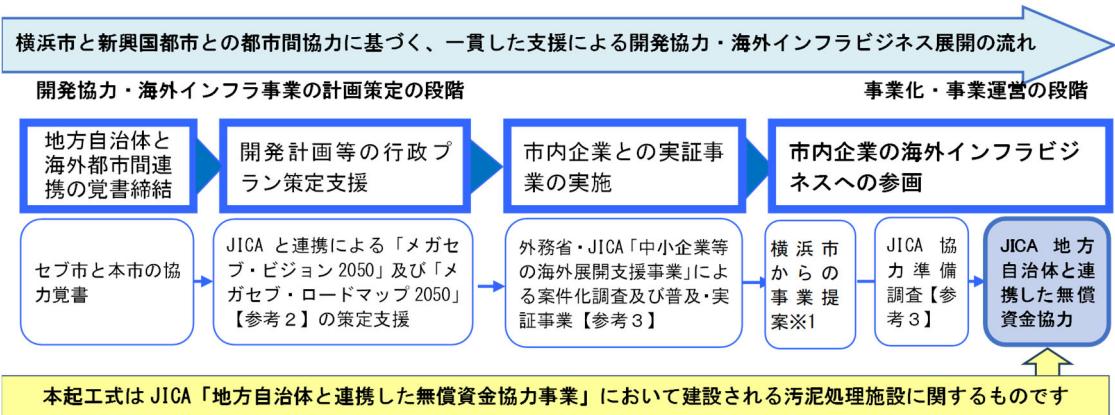
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考1】メガセブ・ロードマップの策定支援

無償資金協力は、日本の政府開発援助(ODA)のうち二国間援助として、開発途上国に返済義務を課さないで資金を供与(贈与)する援助形態で、開発途上国が経済社会開発のために必要な施設(病院・給水施設・学校、道路・橋、環境保全施設等)を整備したり、資機材を調達したりすることを支援するものです。

横浜市は、セブ都市圏においてマスタープラン等の計画策定支援から事業化までの一貫した技術協力を取り組んでいます。横浜市は、市内中小企業との実証事業の成果等を踏まえて「地方自治体と連携した無償資金協力※1」への事業提案を行い、JICA「協力準備調査」等にて事業実現可能性の検討に協力しました。これらの活動を経て、このたび、JICA 無償資金協力事業として汚泥処理施設の建設が始まります。



【参考2】メガセブ・ロードマップの策定支援

横浜市は Y-PORT 事業において、JICA が実施したセブ都市圏の開発計画「メガセブ・ロードマップ 2050」の策定支援に協力しました。開発計画の策定において、下水道の長期的な整備や分別・リサイクル等による都市ごみ処理の推進といった横浜市の都市づくりの実践経験が生かされ、家庭から排出される汚泥の処理施設の整備が開発計画における優先事業に位置付けられました。



メガセブ・ロードマップ 2050©JICA

【参考3】横浜市内企業の事業参画

①横浜市内企業が開発した汚泥脱水装置の普及

平成 24 年度から 3 力年度にわたり、横浜市内企業のアムコン株式会社(港北区、横浜水ビジネス協議会会員企業)が開発した汚泥脱水装置について、フィリピン国への適用性の実証や普及方法を検討するための調査が行われました。この汚泥脱水装置は、省電力・省水量及び運転管理の容易さ等の面で現地の汚泥処理の課題対策に効果的であることが示され、現在、セブ都市圏を中心にフィリピン国内の各地で導入が進んでいます。



汚泥脱水装置で汚泥が
固液分離されている様子
©アムコン株式会社

②横浜市の上下水道事業運営ノウハウを活かした調査事業や設計業務への参画

横浜ウォーター株式会社(中区、横浜水ビジネス協議会会員企業)は、横浜市 100% 出資団体として国内外において上下水道事業サービスを提供しています。セブ都市圏においては、汚泥処理施設の建設に向けた JICA の協力準備調査や無償資金協力の各事業ステージにおいて、コンサルタントサービスを提供しています。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

